

▶ 地域における公共施設再編案の作成

提案者 ▶ 小田原市

研究者 ▶ 国際総合科学部 国際都市学系 教授 鈴木伸治

地域課題

今後、少子高齢化による厳しい財政状況が見込まれる中、老朽化が進む公共施設を全て更新・維持していくことは極めて困難であり、施設の安全な利用、持続可能な行政サービスを実現するため、施設の総量縮減及び機能配置の適正化を図る必要がある。施設白書や公共施設等総合管理計画などの策定を経て、今後、施設の複合化 や統廃合を含めた公共施設再編基本計画を策定する。この公共施設が抱える課題や それに対する取組を進めていくためには、地域住民の理解を得ることが不可欠である。

課題解決の方法

地域住民とのワークショップを定期的に開催しながら、市民が抱く地域の将来像を具体化し、公共施設の今後のあり方について提案の作成を行う。

実施内容

実施スケジュールに基づき以下のスケジュールで住民参加型のワークショップを開催し、公共施設の再編案について提案を行なった。また、これにあわせて、地域の子育て世帯向けのアンケートも実施した。

- 第一回 9月29日 公共施設について考えよう
- 第二回 10月23日 これからの暮らし方について考えよう
- 第三回 12月4日 これからの暮らし方について考えよう2
(若者、子育て世帯へのヒアリング)
- 第四回 2月5日 これまでのまとめ、大学からの提案
(当初1月22日を予定していたが、大雪のため延期)
- 第五回 3月12日 提案の検討

成果・効果

自治会等の団体を中心としたワークショップ構成メンバーのみならず、学生や子育て世帯（アンケートも含む）へのヒアリングを実施したことで、多世代の意見を反映したワークショップ運営、提案の作成が可能となった。

今後の課題と展開

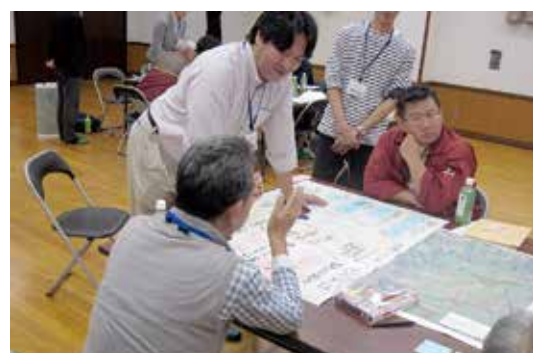
今後、地区内の公共施設の利用実態の検証を実施する予定であり、施設の再編・集約化によって、真に必要な公共施設のあり方、また、効率的な利用のあり方について提案していく必要がある。



第1回ワークショップ



第2回ワークショップ①



第2回ワークショップ②



第3回ワークショップ